



地球人になる終わりのない練習

相模原市の某小学校で、4年生に「地球環境」の授業を行う機会を戴いた。資源のリサイクルを通して環境問題を考えさせているが、何故、人類にとって環境問題が大切かを、地球的規模で解説して欲しいとのことであった。体育館に集まった150人の児童の前に、「地球上の生命の循環」の話をした。

地球上のすべての生物は、基本的に植物が作り出した栄養素を食べて生きている。生物が死ぬと、その身体は、微生物によって分解され、水や炭酸ガスやミネラルになって、環境に還って行く。地球的視野で考えると、すべての生物は、地球上でリサイクルしており、長い目で見ると地球上の運命共同体である。人は、死んだら天国や地獄へ行くのではなく、水や炭酸ガスやミネラルとなって地球環境に戻り、新しい生物の一部になってこの世に蘇る。だから、環境を大切に、家族や友達と仲良く暮らし、生物を大切に、食べ物を大切に、地球上のすべてのものを大切に、習慣を身につけよう。



素敵な地球人

人間は、生まれてから死ぬまで、素敵な地球人になる練習をしていると考えよう。地球人になるのは簡単ではない。練習だから失敗しても

良いことにしよう。考えて、考えて、考え抜いて、これは良いと思うことを実行してみる。失敗しても、失敗しても諦めないで練習する。だんだん立派な地球人に近づいて行き、死ぬ時は「一番素敵な地球人」になって死ぬことになる。裕福な人間になって、贅沢な暮らしをするのが人生の目的ではない。

素敵な地球人の定義は、人それぞれで違って良いと思う。人間は何のために生まれてきて、何を目的に生きるかを知るために、いろいろな苦労や経験を重ね、勉強し、交流するのである。

日頃、私が考えている地球人の姿を紹介しよう。地球人は、国家・人種・民族・宗教・性別・貧富の差・文化・文明の壁を越えて仲良くし、民族の多様性を尊重し、基本的人権を尊重し、生物多様性を尊重する。戦争をしない人間、生物を大切にしている人間、むやみに水や空気を汚さない人間、生活を楽しむ人間、そして、自分の心の宇宙を、広く、深く、豊かなものにする努力をする人間が、標準的な「素敵な地球人」だと思う。以上が、私の授業の要旨である。

児童から『前世の記憶が蘇った』という話を聞いたことがあるのですが、そんなことがあるのでしょうか？』を皮切りに、質問続出。